

かわさき 図書館だより



図書館ホームページ: <http://www.library.city.kawasaki.jp/>

2009年1月7日に加わった新しいサービスで
図書館がさらに使いやすくなりました!

～新しいサービスをご利用ください～

★予約受付確認メール★

図書館ホームページから予約をされると、その予約が受付されたことを確認できる「予約受付確認メール」が送信されます。(連絡方法をメールにされている方のみ)

※受付を確認するメールですので、このメールが着信した時点では、まだ資料はご用意できていません。

※一日分が一回の送信(夜9時頃)にまとまります。



★返却期限通知メール★

ご希望の方に、返却期限が近づいたことを知らせる「返却期限通知メール」が送信されます。図書館ホームページ・館内利用者用検索機(OPAC)の「利用者メニュー」からこのサービスの登録ができます。

★パスワード発行★

図書館ホームページ・館内利用者用検索機からご自分でパスワードを発行することができます。パスワードを忘れた場合の再発行も可能です。

※パスワード発行には、貸出カード番号・電話番号・生年月日の入力が必要です。



★貸出カード「事前申込み」★

はじめて図書館の貸出カードを作られる方は、図書館ホームページ・館内利用者用検索機(キーボード用画面)から必要事項を入力し、事前申込みをすることができます。事前申込みをご利用いただければ、カウンターでの手続きが簡単になります。

※事前申込み後30日以内に図書館カウンターで貸出カードの発行が受けられます。

※貸出カード発行時には、ご本人及びご住所の確認できるものが必要です。

※図書館ホームページからの事前申込みは市内在住の方のみご利用できます。

※館内利用者用検索機のタッチパネル画面・モバイル版のホームページからは事前申込みができません。



お知らせ

以前より長期延滞の貸出がある場合は、貸出を停止してまいりましたが、2009年1月7日より、予約の受付も停止することにいたしました。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

※延滞の資料が返却されれば、また通常通り貸出・予約などの利用ができます。



このコーナーでは、川崎をもっとよく知り、もっと楽しむための本を紹介していきます。

第10回目は「川崎発」の産業に関する本を集めました。



～先端技術から果物まで～

第10回 川崎は「ものづくり」の発信地！

A：『かわさき産業ミュージアムガイドブック』 インタラクティブかわさきネットワーク／編集

戦後に活躍した乗り物から巨大な鉄鋼炉まで、日本の近代化に貢献した産業遺産は市内に多数点在しています。非公開のものまでまとめて見るならこの一冊。（発行：川崎市）

B：『川崎サイエンスワールド』（川崎市） 川崎市先端科学技術副読本監修委員会／監修

川崎で開発された身近に役立てられている科学技術を、写真や図で分かりやすく解説。中学生向け副読本ですが、大人の方も楽しめます。

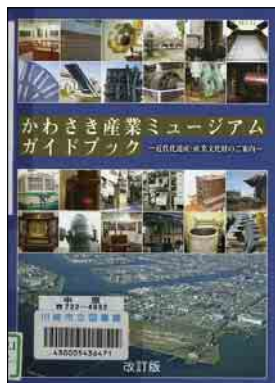
C：『工場萌え』 石井哲／写真 大山顕／文 （東京書籍）

工場を鑑賞する、個性的な写真集です。コンビナートやガスタンクの不思議な造形、光や水蒸気が織り成す景色…。無機質な風景はSFの世界のようにも、現代アートのようにも見えます。

D：『川崎果樹物語』（はまぎん産業文化振興財団）

市内でこんなに果物が作られていたとは！とても小さな冊子ですが、生産者の果物への愛情がギュッと詰まっています。

《 左から、A・B・C・D 》



*** 講演会のお知らせ ***

作家と図書館の世界 作品に描かれた読書と図書館の周辺

樋口一葉、夏目漱石、芥川龍之介、石川啄木、菊池寛、宮本百合子、島尾敏雄、司馬遼太郎などの作品に描かれた図書館や読書のことなどをお話いただきます。ぜひご参加ください。

日 時：平成21年3月16日（月） 午後2時～4時

講 師：高橋和子氏（相模女子大学名誉教授・前川崎市立図書館協議会会長）

会 場：川崎市生涯学習プラザ大会議室

（JR南武線武蔵小杉駅・東急東横線武蔵小杉駅下車徒歩12分）

申込み：2月13日（金）より電話受付

中原図書館（722-4932）

※図書館の職員研修の一環として開催しますが、市民の皆様にもご参加いただける講演会です。



Report!

秋のイベントへのご参加ありがとうございました!

今年度も「かわさき読書週間」(平成20年10月27日～11月9日)を中心に、図書館と読書に関するイベントが数多く開かれました。主なイベントの様子をお知らせします。

平日にもかかわらず盛況でした! 村上直先生講演会「大江戸をささえた川崎市域」

昨年11月14日(金)、本紙に「かわさき歴史めぐり」を連載いただいている村上直先生をお招きして、「読書のまち・かわさき」図書館講演会を開催いたしました。川崎が近郊都市として江戸を支え、発展してきた歴史を様々な視点からお話しいただきました。当日は平日にも関わらず、多くの方々にお越しいただきました。ご参加の皆様の熱心な様子から郷土と歴史への関心の高さが感じられるイベントになりました。ご参加ありがとうございました。



～協働の輪が広がっています～「図書館フォーラム・かわさき 2008」



よりよい図書館にするために市民と職員・教職員とが協力してできることは何かを考え、話し合う場として川崎市内の市民ボランティア、公共・学校図書館関係者とが協働で毎年開催している第11回「図書館フォーラム・かわさき」が12月7日(日)市立橘高校を会場に開かれました。今年はフリージャーナリストの池上彰氏の基調講演と「くらしに活かす図書館」をテーマにしたパネルディスカッションの2部構成で、約100名の参加をいただきました。川崎で市民発の協働が進んでいます。

秋の恒例イベントも6年目を迎えました「かわさき読書の日のつどい」

「かわさき読書の日のつどい」が昨年11月15日(土)に行われました。前半は市内の読書活動に功績のある優秀団体の表彰、後半は詩集「のはらうた」などの作品が親しまれている作家の工藤直子先生による講演がありました。作品から受けるイメージと同様、バイタリティーがあり心が温かくなるようなお話がうかがえました。また、講演の後には市内の小中学生による詩の「読みっこ大会」が行われました。工藤先生の詩や自作の詩をいろいろな読み方で表現する子どもたちに工藤先生がコメントをされ、微笑ましく、詩作により親しみがわくような時間をすごせました。



かわさき歴史めぐり (17)

徳川氏の関東入国と川崎市域－17－

法政大学名誉教授
村上 直

川崎市域を通る江戸時代の八王子道は、現在の府中街道に当たります。これについては、中原区の市ノ坪という地名の説明のなかで、この村（江戸時代）の中央部を二ヶ領用水と平行して流れる「市ノ坪川」という川がありましたが、この川の蛇行のままに沿った道は、「川崎や溝口へ通ずる幹線道路で『八王子みち』と呼ばれ、明治二十七年に府中県道となりました」（日本地名研究所編『川崎の町名』平成3年刊）とあります。そして「以前の県道の東側の耕地は工場や高層住宅に変わり、市ノ坪川は道路下に埋まり、かつての農村風景はなくなりました」（同書）とあり、この道沿いには庚申塔こうしんとうがあったとも記しております。また、中原区内の標高ひょうだか（海面からの高さ）については「小杉青物市場付近（現在の川崎市公文書館付近）で7.8米（m）、宮内で10.6米 北境北見方境で12.7米、此の間の距離3.2軒（km）に対し、5.9米（4.9米か）の高度を有するに過ぎず、勾配は五十分之一に達しない」（安藤豊作編『中原町誌』昭和8年刊）とあります。このように、江戸時代の「八王子道」はそのまま県道となり、道沿いの石造物と共にその歴史が伝えられていたことになります。この道が、のちに府中街道とも呼ばれている神奈川県道9号川崎府中線（道路の正式名称）です。

「八王子道」は、東海道や中原往還・矢倉沢往還

（大山街道）のような歴れっきとした街道や脇往還ではありません。しかし、生活の道・信仰の道として、東海道と甲州道中を結ぶ重要な役割を果たしておりました。これは多摩川の流域に沿う道として、密接に関連していたとみることができます。そのコースとしては、一応、川崎市内では、川崎宿を出て、古川村、下平間村、市ノ坪村、今井村、小杉村、宮内村、二子村、久地村、登戸村、中野島村、菅村などを通過しているといわれております。そして、この道は「青梅・八王子方面等山間部の資源と、江戸湾方面の海産物などの輸送路となり、八王子宿は、月に六度開かれる六斎市で著名で、関東一円の織物類や、大磯・小田原・南湘腰越の海浜地域や、大師河原・深川・行徳方面の水産物が広く集荷された（『武蔵名勝図会』）（『川崎市史・通史編2・近世』平成6年刊）とあることも注目したいと思います。

東海道には川崎宿の他、神奈川宿、藤沢宿、大磯宿を起点として、八王子宿を目指す道がありました。これらの道は、いずれも「八王子道」と呼んで江戸時代には武蔵国（3郡）と相模国〔神奈川県域〕を縦断して、八王子宿を経て、甲州道中を通り甲斐国（山梨県）・信濃国（長野県）に繋がって行く重要な交通路であったということが出来ます。



編集・発行 川崎市立中原図書館 〒211-0063 川崎市中原区小杉町3-417 TEL044-722-4932

川崎市立図書館：

川崎図書館(200-7011)	高津図書館(822-2413)	麻生図書館(951-1305)	大師分館(266-3550)	橋 分館(788-1531)
幸 図書館(541-3915)	宮前図書館(888-3918)		田島分館(333-9120)	柿生分館(986-6470)
中原図書館(722-4932)	多摩図書館(935-3400)		日吉分館(587-1491)	菅間覧所(946-3271)